

### ◎委員考察

視察後の委員からは、小中高一貫の英語教育等を「町の生き残り戦略」と位置づけられている点が特に印象的であった。小中高の12年間を通じた教育環境が特徴的であり、地域振興と交流人口の増加に大きく貢献しているとの意見などがありました。

### 【産業厚生常任委員会】

日時 1月21日(水)  
午後3時より

視察地 大分県臼杵市  
視察テーマ

「有機農法の取り組み及び有機肥料の活用について」

臼杵市では、「循環型社会の構築」を大きな柱に、有機の里づくりを進めています。

公設民営の「土づくりセンター」では、約半年かけて「うすき夢堆肥」を製造しており、農家の手間や時間を大幅に減らしています。そのため有機農業への取り組みがしやすくなり、地域全体で環境にやさしい農業の広がりを支えています。こうして育てられた「ほんまもん農作物」は学校給食にも活用されており、子どもたちの健康を守るとともに、地産地消や食育の推進にもつ

ながっています。

堆肥づくりから農産物の活用までを地域で循環させることで、持続可能な農業の実現を目指しています。

### ◎委員考察

視察の委員からは、「有機の里づくりは、生産から消費までを一体で設計する地域モデルである。本市も強みを活かし、資源循環の仕組みづくりを進めるべきだ。」といった意見がありました。



日時 1月22日(木)  
午前9時より

視察地 大分県豊後大野市  
視察テーマ

「ジオパーク活用による地域振興及びサウナのまち宣言によるまちづくりについて」

「おおいた豊後大野ジオパーク」は、阿蘇火山の噴火で形成された地形や豊かな水資源をテーマとし、教育、保護・保全、持続可能な発展を三本柱として、ガイド養成や商品開発などを通じて地域活性化とシビックプライドの醸成を図っています。また、温泉の代わりに自然を活かしたアウトドアサウナを推進して、全国初の「サウナのまち」を宣言しました。

民間主導で始まり、イベント開催や補助制度の創設などで、利用者は大きく増え、市外からの誘客にもつながっています。

### ◎委員考察

視察の委員からは、「阿蘇山由来の地形や湧水などを教育・観光に活かし、自然と暮らしを体験型で発信し、住民・事業者・行政が協働して持続可能な観光を進めていることも参考になった。」といった意見や、「無いものや不便さを価値に変え、本市ならではの観光戦略を確立する必要がある。水資源を活かしたアウトドアサウナも可能性がある。民間の主体性を行政が支える官民連携を進め、本市に合った戦略を考えていきたい。」

といった意見がありました。



\*詳しい報告内容は、紙面の都合で割愛させていただきました。  
なお、宿毛市議会ホームページに報告書全文を掲載しておりますのでご覧下さい。

### ■議会報告会(意見交換会)を開催しました

議会報告会を2月25日に山北集会所、神有多目的集会所で開催し、2カ所で21名の方々に参加いただきました。



報告会では、議会の活動実績、12月議会の議案の主な内容、議員の一般質問についてなどを説明させていただきました。参加いただいた皆さんと意見交換を行わせていただきました。  
意見交換では議会や行政に対することのほか、地域の実情・課題などについて、様々な声を聞かせていただきました。  
皆様からのご意見やご提言は議員一同、今後の議会活動に生かしていく所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。